

---

# 第三の人生はシャイニングティアーズ

ヴァールシャイン・リヒカイト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

第三の人生はシャイニングティアーズ

### 【Nコード】

N2112Y

### 【作者名】

ヴァールシャイン・リヒカイト

### 【あらすじ】

創造神にOG2の世界に転生させられたレモン・ブラウニングは神から、シャドウミラーの者達を導く願いを果たし、その後の戦闘で死んでしまう。死んだ後、創造神にお礼としてシャイニングティアーズの世界で、自分の意思で鳥人となり永住する

## プロローグ（前書き）

レモンとディオクレスが好きで書き始めました

## ブローグ

レモン「また、此処に来たわねえ」

最後に来たのは、転生する時だったかしら

思いに耽っていたら懐かしい創造神が来たわ

創造神「久しぶりだな、レモン・ブラウニング」

レモン「お久しぶりねえ、創造神さん」

創造神「・・・貴様、転生したら性格変わっていないか？」

レモン「ふふふ、そうかしら」

そう言ったら創造神は一息吐いて私を見つめた

創造神「まあよい。シャドウミラーの者達を導いてくれた礼だ。新しい命と共に新たな世界で永住するが良い、転生先はシャイニングティアーズの世界だ」

レモン「随分と世界が変わるわね、原作がおかしくなるんじゃないかしら？」

創造神「その世界は、貴様が永住する世界だぞ。原作はブレイクして構わん」

レモン「ふゝん、少しいいかしら？」

創造神「なんだ？」

レモン「私の種族を白い鴉の鳥人にできないかしら？赤紫の髪を残して」

鳥人に成りたかったのよね。この髪を残して

創造神は、ふつと笑い答えた

創造神「可能だ、ついでにお前のヴァイスセイヴァーに使用してい

た、デイベインアーム、ハルバートランチャー、O・O・ライフル、ソリッド・ソードブレイカーを付けてやる。テイルズシリーズの術の素養、その世界で過ごした記憶と体験もな」

レモン「ありがとう、創造神さん」

創造神「構わんさ、そろそろ送るが、いいか？」

レモン「いいわよ」

創造神「・・・幸せになれよ」

こうして私は、第三の人生を過ごすことになった

## 設定

主人公

レモン・ブラウニング

性別

女

年齢

原作開始時24歳

種族

白い鴉の鳥人

クラス

魔法戦士

武器

デイベインアーム

ハルバートランチャー

O・O・ライフル

ソリッド・ソードブレイカー

概念

創造神に頼まれOG2の世界にレモン・ブラウニングとして転生し、シャドウミラーの皆を導いたあとにシュテルンレジセイアとの戦闘で死亡。死亡したら再び創造神と会った空間にたどり着く。お礼として新たな命を与えシャイニングティアーズ・ウィンドの世界に転生させる。原作はブレイクしても構わないと言われ、レモンは前世

からの望みであつた鳥人となりある程度の力とOG2の世界で使用していたディバインアーム、ハルバートランチャー、O・O・ライフル、ソリッド・ソードブレイカー、テイルズの魔術の素養をもらい転生する

## 第1話 出身はベスティア

目を開けると私は椅子に座っていた

レモン「うーん、此処は・・・」

私の頭にあるこの世界で過ごした記憶と体験によると此処は、ベスティアの首都ドウーグにある私の家のような

両親は十歳の時に他界、それから一人暮らしで過ごしている

レモン「（私の年齢は21歳、私の記憶に拠ると元ベスティア獣王十二将ヴォルグさんが今、42歳・・・原作の三年前ね）さて、どうしたのかしら」

部屋にあった饅頭を手に取り食べる・・・美味しいわねこの饅頭

窓を見ると獅子王ディオクレス陛下やベスティア獣王十二将、ベスティア軍のいる聖アーク城が見えた

聖アーク城って存在感が凄くあるわね。城が大きくて、兵士の質や人付き合いがいいからかしら・・・

レモン「さて、これからどうしましょうか」

食材もある程度はあるし、菓子を食べながらでいるのもあれだしね

うーん



何をするか考えていたらふと、在ることを思った

レモン「お金ってどうなってるのかしら？」

財布を開けたら

かなりのお金が入っていた

予想外の金額が入っているじゃないの！

かなりあるけど、無駄遣いはしないほうがいいわね

お金を確認していたら、ふと、城下町を見て回りたいと思った。何かあるかもしれないしねえ

丁度お金も在ることだし、城下町を見て回りましょうか

家を出て、城下町を歩いていると大勢の獣人達が歩いているわね

周囲には民家やお店があるし、何より活気があっていい国ね

ディオクレス陛下に感謝しないといけないわね

城下町を歩いていたら私は、本屋を見つけて立ち寄っていた

色々売っているわね・・・小説に歴史本、中には子供厳禁な大人の  
本もあったわ・・・あら？

目の前に気になるものがあつたので手に取って見たら

レモン「本の形をしたメモ帳ね（結構安いわね、魔術について書いて  
魔術書でも作っておこうかしら）」

それから他にも見て回り、本型のメモ帳7つ、数種類のペン、筆記  
用具を購入して家に戻ったら、夕食を食べて風呂に入り寝巻を着て  
椅子に座り、メモ帳とペンを取り出した

レモン「取り敢えずは火、水、風、地、光、闇属性について記そう  
かしら」

ペンを手に取り術について書く

術の説明、構築、威力、詠唱、規模を記していく  
ほとんどテイルズシリーズの術ね

そんな中、私はとあることを思う  
オリジナルの魔術って創れないかしら

今度考えてみましょうかしら

一通り下級、中級、上級の魔術を記して椅子にもたれかかる

レモン「ふう、漸く終わったわ」

意外に疲れるものよね、こういった作業

シャドウミラー隊の時の書類仕事を思いだすわ

そういえば、私に魔術の素養ってあったのよね

・・・どれくらい魔術が使えるか試してみる必要があるわね

お茶を飲みながら明日にベスティア付近の場所で、モンスター相手に下級術を試そうかと考えた

時計を見ると時刻はもう、23:30

レモン「・・・明日のためにもそろそろ寝ようかしら」

明日に試す魔術のことを思いながらベットに入り眠りに就いた

## 第2話 魔術実戦

翌朝、私は起きて朝食を食べたら、着替えてデイベインアームを腰に構え、O・O・ライフルを背中に背負い、ソリッド・ソードブレイカーを身に付ける

レモン「見た目は翼の薄いプロテクターのような」

外に出てドウーグの出入口を後にし、近くの森に向かう

レモン「着いたわね」

周りを見渡すと中々の木や草が生えているわね

取り敢えず奥に向かって歩こうとしたら

「グルルルル」

レモン「モンスター3体ね・・・よく見たらテイルズシリーズに出てくるウルフじゃないの」  
パラレルワールドだからかしら

「がああああ！」

つと、噛み付こうと飛び掛かってきたウルフをディバインアームで斬る

斬られたウルフは悲鳴を上げて死んだ

レモン「警戒して距離を置いたわね、でも・・・」  
上手く発動するかしら

レモン「シャドウエッジ！」

「ギャイン！」

ウルフを真下の地面から闇の槍が貫きダメージを与える

レモン「あら、成功したわね」

攻撃された怒りからか残りのウルフ達が私に向かってくる

レモン「来なさい、狼さん」

向かってきたウルフに魔神剣を放ち、一匹を足止めしたら残りのウルフに月閃光で反撃する

「ギャアン！」

絶命しちゃったわね

足止めたウルフはどうなってるのかしら？

「アオオオオオン！」

遠吠え・・・仲間を呼ぶつもりね

レモン「デルタレイ」

三つの光の玉がウルフに当たり絶命する。さて、今の内に

ガサガサ

「『ガールルル』」

・・・来ちゃったわね・・・けど、これだけ距離があるなら

私は術の詠唱に入る

そこを狙ってウルフ達が向かって来た

レモン「残念ね、プリズムフラッシャー」

詠唱が終了したプリズムフラッシャーがウルフ達にヒットした

手加減したつもりなんだけど・・・あら、逃げちゃったわね

それからモンスターが襲ってきたけど術で撃退しちゃったわ  
そろそろ戻りましょう

家に戻った私はすぐに机の上にある魔術書を開く

レモン「成功ね、後は・・・あら」

お菓子がもう無いわね、買ってこないと

城下町に出た私はお菓子のお店に向かって歩いていたら貼り紙を見つけた

レモン「闘技場で武道大会ね・・・」

男女問わずに出場可能だから、出てみようかしら

アクセルの相手をしていたせいかしら、戦い好きになっちゃったの  
よね



そう思いながらお菓子の店に向かって歩いていった

ドンッ

「????」む、済まんな」

誰かとぶつかったわね。一体誰かしら、結構筋肉質の方のようだけど

レモン「いえ、こちらこそ……」

ちよ、ええええええ!?

ど、どうしてこの御方がここに居るのよ

ぶつかった相手を見ておどろいてしまった

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2112y/>

---

第三の人生はシャイニングティアーズ

2011年11月17日17時47分発行